近現代史研究会

テ　ー　マ　近現代史を学び、現代政治への示唆を得る。

概　　要　現代の政治・社会が、政党政治の混迷、国際政治の緊迫化、ポピュリズム的な機運の台頭等、昭和戦前期と共通性が多く、昭和史を中心とする近現代史に関する精細な研究を通じて今後の対応が見えてくるのではという認識の下、日本近代史の第一人者である筒井清忠先生を迎え、超党派の政治家等と共に勉強を重ねる。

期　　間　2017年5月15日～2027年3月31日

開催年月日　2017年

12月21日「非命の維新者」と「戊辰戦争の敗者」：
明治維新150年を迎えて

2018年

3月7日　乃木希典：　旅順戦・殉死・「昭和軍閥」
5月15日　堀悌吉―海軍軍縮派の悲劇
6月6日　昭和陸軍―組織・派閥・人事
7月4日　経済学者たちの日米開戦
（牧野邦昭摂南大学経済学部 准教授）
8月2日　映画『あゝ海軍』の背景・実像・影響
10月18日　近衛文麿伝①　誕生から内務省まで
新渡戸稲造・西田幾多郎・教養主義
12月18日　近衛文麿伝②　付・近現代日本の皇室と政治

開催年月日　2019年

1月24日　近衛文麿伝③　「左傾化する貴族」とアメリカ型市民主義
2月13日　二·二六事件
3月13日　近衛文麿伝④　貴族院と護憲三派内閣～浜口内閣
4月10日　近衛文麿伝⑤　満州事変、五・一五事件、デモクラシーの逆説
5月9日　近衛文麿伝⑥　訪米・純日本式教育・家庭デモクラシー
6月6日　第1回普選・田中義一内閣期を通して見るポピュリズムと議会政治
9月25日　『人間魚雷 あゝ回天特別攻撃隊』を観る
11月6日　二·二六事件①　―昭和維新運動と陸軍の派閥対立

2020年

1月24日　二·二六事件②　―クーデター計画から事件の展開まで
2月13日　「映画『銃殺』に見る二·二六事件」
11月27日　玉砕・特攻戦と太平洋戦争終結
―戦争・外交と国家意志
12月22日　近衛文麿伝⑦　首相就任前の3年間（1934～37）

開催年月日	2021年	
	2月2日	両大戦間期日本政治思想社会史 ―アナキズムから革新官僚まで
	3月5日	二・二六事件③　―発生直後の動き
	4月5日	中谷武世伝 ―北一輝から小池百合子まで （付；憲法9条発案者は誰か）
	6月16日	第一次世界大戦ブームと『貧乏物語』
	7月28日	民謡と新民謡運動―近代日本における文化的ローカリズムの再生
	2022年	
	1月24日	二・二六事件東京陸軍軍法会議録 解題
	3月2日	太平洋戦争への道と現代―歴史的プロセスと問題点
	4月19日	近代日本政治における黒幕・策士 ―橋川文三の小泉三申論
	6月14日	ソ連フィンランド戦争―独ソ不可侵条約前後から
	11月25日	近代日本暗殺史（1）明治暗殺史
	2023年	
	2月6日	近代日本暗殺史（2）大正暗殺史
	4月12日	近代日本暗殺史（3）朝日平吾事件（安田善次郎暗殺事件）
	6月1日	近代日本暗殺史（4）原敬首相暗殺事件
	7月26日	『近代日本暗殺史』総論
	10月24日	甘粕事件（大杉栄・伊藤野枝暗殺事件）

開催年月日　2024年

1月23日　二·二六事件と青年将校

2025年

3月9日　コアメンバーによる研究会

なお、本研究会の成果として『近代日本暗殺史』をPHP研究所から2023年7月に発刊した。現代の日本政治にも大きな示唆がある書籍として、各方面から評価をいただいている。

5月20日　松岡洋右とポピュリズムの時代

8月5日　レーニン主義―「リベラル」・現代的左翼の一起源

10月16日　日本文化史への視座

2026年

1月8日　第二次憲政擁護運動と護憲三派内閣―普通選挙制度成立期の政党政治

3月12日　「総選挙大勝内閣」（「人気内閣」）の一考察―日本近現代史に見る

メンバー

亀井　善太郎　（主査）
PHP総研 主席研究員
立教大学大学院社会デザイン研究科 特任教授

三原　岳　（副査）
株式会社ニッセイ基礎研究所 上席研究員

筒井　清忠
帝京大学 学術顧問

林　芳正
衆議院議員

松本　剛明
衆議院議員

古川　元久
衆議院議員

福田　達夫
衆議院議員

松井　孝治
京都市長

平泉　信之
一般財団法人鹿島平和研究所 会長
株式会社アバンアソシエイツ 顧問

小林　創
一般財団法人鹿島平和研究所 理事
ジェミニストラテジーグループ株式会社 パートナー

メンバー

松本　道雄

一般財団法人鹿島平和研究所 理事

EQT Exter Japan株式会社　EQT Real Estate 日本責任者

小黒　一正

一般財団法人鹿島平和研究所 理事

法政大学 教授

秋山　昌廣

一般財団法人鹿島平和研究所 顧問

秋山アソシエイツ 代表

元 防衛事務次官